

平成29年度 第6回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成30年1月23日(火) 10:00~12:00
- 2 開催場所 小平市中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 12名
事務局 中央公民館長、館長補佐兼事業担当係長、管理担当係長、
分館担当係長4名(各館除雪作業のため6名欠席)
- 4 傍聴者 1名
- 5 配布資料 (1) 公民館運営審議会提言<作成基礎資料>・・・・・・・・・・資料1
(2) 平成29年度小平市公民館定期講座実施状況表・・・・・・・・・・資料2
(3) 東京都公民館連絡協議会 職員部会 報告・・・・・・・・・・資料3
(4) 平成30年度小平市公民館事業計画(案)・・・・・・・・・・資料5
(5) 平成29年度第5回小平市公民館運営審議会会議要録・・・・・・・・・・資料6
(6) 改訂版 小平市教育振興基本計画(素案)・・・・・・・・・・資料7
- 6 次第 (1) 館長報告
(2) 提言作成について
(3) 公民館定期講座実施状況について
(4) 東京都公民館連絡協議会 職員部会・委員部会報告について
(5) 平成30年度 小平市公民館事業計画(案)について
(6) その他

会議の概要

1 館長報告

平成30年度 改訂版 小平市教育振興基本計画(素案)について説明した。

(質疑応答)

委員 生涯学習という言葉と社会教育という言葉が混在しているが、小平市ではどのように使い分けているのか。文部科学省では、社会教育から生涯学習へ、また、地域教育へと変遷している。社会教育学会の中でも議論されているので、小平市の中で、定義付けがあ

るのかどうか参考までに教えてほしい。

館長 市としても、社会教育課から生涯学習推進課へ、また、地域学習支援課へと変遷している。この教育振興基本計画は平成25年2月に作成されたものだが、特に定義を示しているものはない。

委員 学校教育に社会教育がのみ込まれていくという懸念がある。社会教育は社会教育の独自性を持って進めていただきたい。

2 提言作成について

委員より資料1について説明した。

(質疑応答)

委員 前期の公民館運営審議会が作成した小平市公民館運営審議会ハンドブック（以下「ハンドブック」）では、「自主公運審」と表記されており、「自主研修会」と整理をしなければならないと思うがどうか。

委員 おそらく10年以上前の話になるが、定例会の回数と委員定数の見直しがされた時があった。以前は、年間11回定例会があったが、7回に見直されたと同時に、4回は自主的に集まろうということで、今のような形態になったのではないかと。

事務局 その通りだと思われる。見直し後は、「自主研修会」として計画表にも掲載されてきたが、通称で「自主公運審」と呼んできたのではないかと。また、平成27年度に作成されたハンドブック以外の資料には、「自主公運審」と表記されているものはない。

委員 イメージとしては、「自主研修会」の方がいいのではないかと。ハンドブックは、現状に応じて逐次改訂してもいいとのことなので、名称を改定すればいいと思う。

委員 ハンドブックが「自主公運審」なので、「自主公運審」と残した方がいいのではないかと。

館長 「自主研修会」の中でも年に1回は、研修会の講師謝礼が予算化されている。言葉の表現についても審議していただきたいが、事務局との関係性を踏まえて審議してほしい。

委員 研修会については、公民館運営審議会委員だけでなく、事務局も関与してほしい。

- 委員 審議会定例会は予算措置のある公的なものであり、それ以外は自主的な集まりという経緯から、「自主研修会」がいいと思う。
- 委員 公民館運営審議会の研修会なのだから、自主を取ってもいいのではないか。また、関わりについては、事務局に関わってもらった方がよい。
- 委員 成り立ちは、おそらく委員報酬の予算削減の中で、公民館運営審議会の回数が減り、それに伴い年4回は自主的に集まり、「自主公運審」が発足したと考えられる。事務局側からの働き掛けがあるのであれば、当然それは予算を伴うものと考えられる。制度的には、「自主研修会」がいいと思うが、ハンドブックは「自主公運審」となっているので、その部分に一文を加えればいいのではないか。
- 委員 2月の自主研修会では、その辺りを整理したものを示したい。
- 委員 3（3）④について、例の部分の「家から出たがらない」や「会社勤め」の部分はどうか。
- 委員 具体的な例は要らないのではないか。
- 会長 具体的な例は、削除する。
- 委員 3（3）⑤について、「研修が必要」とあるが、そもそも事業企画委員会の役割が分館ごとに違うと感じるが、実際はどうか。
- 分館長 事業企画委員会の役割は事業を企画するまでである。その後の講師交渉や事業の実施は分館の役割である。
- 分館長 鈴木公民館については、ゆくゆくは事業企画実行委員会の立ち上げを見据えており、全ての講座ではないが、委員によっては講師の提案をしたり、ウォーキングなどの講座では当日の運営を補助している実情がある。
- 委員 事業企画委員会と事業企画実行委員会があるが、今回の提言は、事業企画委員会としてまとめる。
- 委員 事業企画実行委員会はあるところとないところがあるということか。

- 館長 現時点での事業企画委員会は、花小金井北公民館と小川西町公民館を除く 9 館に設置している。まだ、事業企画実行委員会の設置の見込みは立っていないが、鈴木公民館においては、同様の役割を担っている委員がいる状況である。事業企画委員会の基本的な役割は、次年度実施の講座の企画をしてもらうことだが、委員の中には講師の推薦や調整までしていただいている方もいる。
- 委員 公民館では退職した人向けのプログラムはないのか。中央公民館ではシルバー大学があるが、一つの講座であって、地域づくりと直結するような取組はあるか。
- 館長 退職した方が地域に出るきっかけづくりとして、全館でシニア講座を実施してきた。今年度は、単発ではあるが、地域づくりにつながるテーマとして、広げよう公民館活動などの講座を実施したが、今後もシニア講座を実施していく中で、小平市立公民館事業計画の目標にあるように学習成果を地域へ還元する「学びの循環」をキーワードに、地域の人材育成・活用やネットワークづくりに取り組んでいく予定である。
- 委員 3（3）③の「類似しているため」は、「類似している場合もある」などに変えてはどうか。
- 委員 次回、表現を工夫する。4の次期公民館運営審議会で新たに検討を要するテーマについては、いかがか。
- 委員 4（10）の「学習コーナー」とは、図書館のような常設の学習コーナーが必要という意味である。現状の当日利用の学習室の運用では、広い部屋に数人しか利用していないので、費用対効果として無駄が多いのではないかと思う。
- 委員 4番、そのものを提言から削除したらどうか。
- 委員 提言の役割は、これを参考に運営してほしいという性格のもので、各委員からの意見を残すために、削除はするべきではない。
- 委員 4（11）について、公民館職員に地域と行政を繋ぐコーディネーターとしての資質を向上させる、というのは、言い過ぎではないか。
- 委員 総合的なコーディネーターとなると大きな意味であるが、公民館職員は地域と関わっているなので、表現を緩やかにするべきではないか。意味的には大事なところである。

委員 次回までに、表現を工夫する。

委員 4（12）について、地域センターとの対比のみでなく、賛否はあるが、複合化の流れの中で、表現を変えた方がよいと思う。

委員 小平市は、公民館、地域センター、図書館など建物が多いと思う。利用にあたって、受益者負担の課題もテーマの中に、加えてもらいたい。

委員 公民館と地域センターは目的が違っている。

委員 教育委員会が学習権の保障を今後も続けていくということを念頭に、次回までに、表現を工夫する。

委員 地域センターではなく、公民館の目的を明確化すればいいのではないか。

会長 2月の自主研修会で手直ししたものを提示する。

3 公民館定期講座実施状況について

資料2を参照

4 東京都公民館連絡協議会職員部会・委員部会報告について

資料3を参照

5 平成30年度 小平市公民館事業計画（案）について

事務局より資料5について説明した。

（質疑応答）

委員 中央公民館の「女性の生き方・権利に関する講座」は、定期講座一覧表（案）の中では、健康づくりの区分の中に講座名「ヨガで心と身体を健康に」と記載しているが、もう少しテーマに沿った講座をお願いしたい。

事務局 「女性セミナー」は、この講座のほかに再就職をテーマにした「再び働く前に知っておくルール」という講座も予定している。

館長 「女性の生き方・権利に関する講座」として実施する女性向け講座であることが分かる

ようなタイトルに見直し、掲載する。

委員 提案として意見を述べる。

目標のところ、1と2に「教養」、1と3に「コミュニティづくり」が入っていて、分かりにくい。1について、「個人の教養を高めるとともに」を「個人の学びを促進するとともに」に、2について、「取り上げるテーマは」を削除し、「共有できるものとし」を「共有できるテーマを重視し」に、3について、「地域の人材育成、ネットワークづくり、コミュニティづくりの基盤」を「地域の人材の育成とネットワーク化を促す基盤」として、本文の最後に、「そのような人材が開かれたネットワークを形成していけるように支援していく。」としたら、目標として分かりやすいのではないかな。

また、2ページ目の8については表題を「市民参画による講座の拡充と学習成果の活用促進」として、最後の「努める。」に加えて、「努めるとともに、様々なコミュニティづくりやまちづくりの活動への橋渡しの仕組みを整える。」としたらよいのではないかな。また、11ページの3(1)の講習会について、小平市は社会教育主事講習を予算化し毎年受講していると聞いている。であるなら、「社会教育主事講習」と記載したらいいのではないかな。

事務局 再度、検討する。

6 その他

委員 大沼公民館まつりで利用者から次の2点について問合せがあったので、次回に回答してほしい。1点目は、地域学習支援課にある、大型プリンターを市民に貸出しできないか。2点目は、チラシ配架の基準について教えてほしい。電話番号が掲載されていないことや、年会費5,000円では配架できないのか。

事務局 次回の定例会において、回答する。

次回は、平成30年3月20日(火)午後2時より、中央公民館会議室にて開催する。